

# 社会科学習指導案

日時 令和元年 6月18日(火)  
児童 4年生 男子 名 女子 名 計 名  
授業場  
授業者

## 1. 単元名「安全なくらしとまちづくり」～災害からまちを守るために～

### 2. 単元の目標

地域の安全を守る活動について、見学・調査し、消防署などの関係機関に従事している人々の働きや地域の人々の働きを捉え、関連付けて考え表現することを通して、関係機関が地域の人々と協力して防災に努めていることを理解し、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを考えることができる。

### 3. 単元観・児童観・指導観

本単元は、小学校学習指導要領解説社会科編の第4学年の内容(3)を扱った単元である。消防署などの関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることや、関係機関が相互に連携して緊急に対処する態勢をとっていること、また、その活動に従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解し、自分たちも地域社会の一員として協力できることに取り組もうとする態度を育てることをねらいとしている。

本学級の児童は、前単元「事故・事件のないまちを目指して」の学習において、地域の安全を守る警察の仕事に関心をもち、意欲的に追究活動を行った。問題解決のために、地域の安全に関する調査活動に取り組んだり、警察署の方に聞き取り調査を行ったりしながら必要な情報を集め、課題に対する自分なりの考えをまとめている。話し合い活動では、友達の発言を基に意見をまとめたり関連付けたりする児童も少しずつ増えているが個人差がみられる。

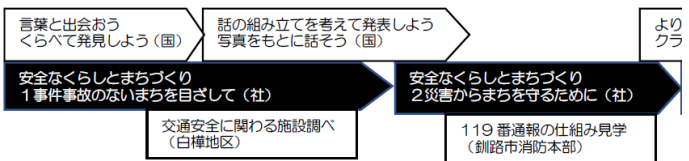
指導にあたっては、防災センターを見学したり消防士の方などにインタビューしたりしながら追究することで多くの情報が収集できるようにすることから、話し合いの場を設けて情報を比較したり関連付けたりして考えるなど、社会的事象の見方・考え方を働かせる場面が多く設定されるようにする。また、問題解決的な学習展開を構成し、さらに形態や性質の似た資料を提示することで、子供が前単元で経験した学習方法を生かせるようにしたい。前単元を想起させながら学ぶことで児童が比較しながら思考を巡らせて課題追究しやすくなるため、消防署と警察署相互の関係、関係機関と地域との協力の意味など、地域の安全を守る働きについて理解を深めることができると考える。

### 4. 「学級・学年経営年間プログラム」との関わり

社会科や総合的な学習の時間における情報収集活動を核として、釧路市の発展に関わる「人・物・事」などの社会的事象の相互関係や、地域と自分との関係を整理・分析し、釧路市の未来への協働的参画意識を高め、よりよい地域の在り方について表現していく力を育むために、本単元では、

国語科との関連を図りながら情報の共通点や相違点を見つけて整理したり、事実と意見を区別して表現したりするなど、集めた情報を適切に整理・分析し、比較したり関連付けたりしながら自分の考えを表現していくとする児童の姿を引き出していく。

**釧路市がどのように発展してきたのかを考えよう。釧路市の未来と自分との関わり  
～釧路市は、住みよい町と言えるのか?～**



### 5. 単元を通して育むリーダーシップ・フォロワーシップに関わる資質・能力

本単元では、地域の安全を守る消防などの関係機関の取組に関心を持ち、火事などの災害を防ぐ取組や119番などの仕組みについて問題解決的に学習に取り組んでいく。火事の発生件数に対する疑問から、話し合いを通して学習問題を作り上げたり、追究の視点と方法（学習計画）を共有し、問題解決のために施設・設備の調査活動を行ったり、消防士の方に聞き取り調査を行ったりしながら必要な情報を集めていく過程で、自分なりの考えをもったり自分にできることを考えたりしながら、「市民性・地域参画力」の資質・能力の育成を目指す。

### 6. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ア 釧路市で起きた火災件数などの資料を読み取り、市で発生している火災の実情を捉えている。</p> <p>イ 消防や防災のための施設や計画の意味と役割、消防署を中心とした消火や防火の工夫と努力、消防署・関係機関・地域の人々が相互に協力・連携しながら地域の安全を守っていることを理解している。</p> <p>ウ 大きな地震が発生した場合に予想される被害や、それに備えるために、市や地域の人々などが協力していることを理解している。</p>	<p>ア 釧路市で起きた火災の発生件数の資料から火事に対処する人々に関心を持ち、課題を解決するための学習問題をつかみ、学習計画を考えている。</p> <p>イ 火事や地震から地域を守るための施設、消防署を中心とした関係機関や地域の人々の協力・連携の意味や役割を自分たちの生活と関連付けて考え、表現している。</p>	<p>ア 火事や地震などから地域を守るための取組について意欲的に調べたり、地域や自分の身を守るために、自分たちにできることを意欲的に考えようとしていたりしている。</p>

### 7. 単元計画（全12時間）

時数	○主な学習活動	評価の観点			学び合いの過程 <b>手立て</b>
		知	思	主	
1 (本時)	○釧路市の火災発生件数の資料から、疑問に思ったことを出し合い、単元全体の学習問題を作る。	ア	ア		<b>手立てⅠ</b> 釧路市で発生している火災発生件数と被害状況を表す資料を提示し、火災をどのように防いでいるのか疑問をもつことができるようにする。
2	○学習問題を解決するために必要な情報を考え、学習計画を立てる。 ・火災を知らせるしくみ ・火災を消し止めるしくみ ・避難のしくみ		ア		<b>手立てⅡ</b> 前時までの学習や自分の生活体験から、火災から身を守るしくみには、どのようなものがあるのについて予想させる。
3 ┆ 6	○「学校を火災から守るしくみ」について調査活動をする。 ・校舎内の設備の調査 ・避難のしくみの調査 ・火災を消し止めるしくみの調査			ア	<b>手立てⅡ</b> ・校舎内の地図に火災を知らせる仕組みや道具の在り処を記録させたり、火災発生時の避難計画を聞き取らせたりして、学校を火災から守るしくみについて捉えられるようにする。 ・校舎内の調査だけでは解決できない課題を整理し、調査方法について話し合わせることで、防災センターを見学する必要性に気付かせる。
7 ┆ 9	○防災センターでの調査活動 ・火事を消し止めるしくみについてもわかってきた。 ・地震が発生したときに火事が起こる場合もある。 ・地震が起きたらどうすれば…。	イ			

1 0 1 1	○地震が起きたときの備え(防災)について資料をもとに調査活動する。	ウ			<b>手立てⅠ</b> 釧路地域の過去の地震を取り上げ、「いつ起こるか分からない」という危機感から調べる必要性をもつことができるようにする。
1 2	○単元を通して調べてきたことをもとに、釧路市の安全面に対する考察をする。			ア	<b>手立てⅡ</b> 調査したことを基に情報を整理・分析し、防災のために自分ができることについて、立場を決めて話合わせる。

## 8. 本時案

### (1) 本時の目標

釧路市で発生した火災の件数の資料から火災に対処する人々の働きに関心や疑問をもち、見いだした課題の解決に向けて予想しながら学習問題を考えている。

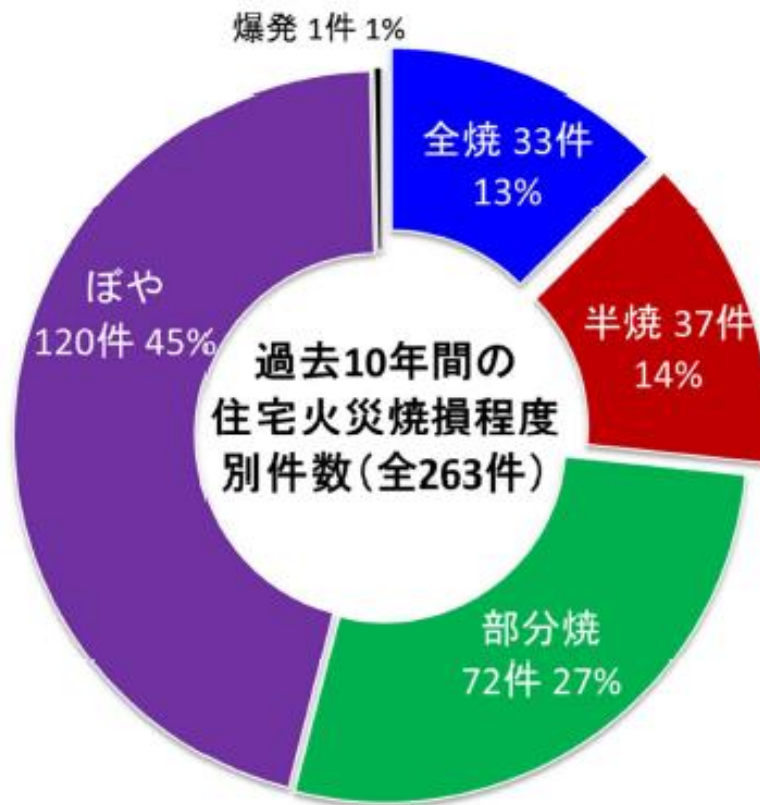
### (2) 本時の展開 (1 / 1 2)

<b>学習活動</b> <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">児童・生徒の姿</span> ○教師の働きかけ・発問 (△補助発問, □指示・説明)	<b>【評価の観点】</b> ◇評価の内容 ・指導上の留意点
<b>1 社会科の学習テーマである「釧路市は住みやすい町と言えるか」を追究していくための学習計画を想起する。</b> ○4月に話し合った学習計画を提示する。 「前時までに交通(事件・事故)のことについて調べてきたが、これで釧路市は住みやすい町と言えるだろうか？」 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いや、まだ「住みやすい」とは言い切れない。</li> <li>・事件や事故以外にも問題はある。</li> <li>・他の災害(火災・地震・津波・土砂くずれ・台風など)についても調べる必要がある。</li> </ul> </div>	<b>【知】</b> 必要に応じて、前時までの児童の振り返りから「安全ではない」「事件・事故以外にも問題がある」と考えている人がいたことを取り上げる。
<b>2 資料を基に、火災の発生件数の傾向を捉える。Ⅰ</b> ○釧路市の火災発生件数(過去10年間)(資料①)を提示する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年が一番少なくなっている。</li> <li>・たまたま減っているんじゃないかな？</li> <li>・あまり変わらないと思うよ。</li> <li>・それでも(50件は)火災が起きている。</li> </ul> </div>	<b>【知】</b> 釧路市で起きた火災件数などの資料を読み取り、市で発生している火災の実情を捉えている。
<b>3 資料から火災の被害が抑えられている理由を考え、交流する。Ⅱ</b> ○釧路市で発生した火災の焼損程度別件数がわかるグラフ(資料②)を提示し、火災が発生しても全焼件数が少ない理由を考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防車がすぐに来て消しているからだよ。</li> <li>・すぐに消火できるように消防署(消防車)が増えたんじゃないかな？</li> <li>・消火器や消火栓がたくさん置かれているのかもしれない</li> <li>・火災報知器や煙感知器のような機械のおかげだよ。</li> <li>・避難訓練をたくさんやったのかな？</li> <li>・消防士さんのレベルが上がったとか？</li> <li>・今までにない火を消す道具(機械)ができたんじゃないかな？</li> <li>・他にも理由があるんじゃないかな？</li> </ul> </div>	<b>【知】</b> ・焼損程度については、解説を付け加える。 ・児童の発言を板書で(理由ごとに)整理する。
<b>4 出合った意見をもとに、学習問題を考える。</b> ○この単元では、何について調べていくとよいだろう？ <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <b>【学習問題】</b>          「私たちの地域(くらし)は、どのようにして火事から守られているのだろう？」       </div>	<b>【思】</b> 釧路市で起きた火災の発生件数と被害状況の資料から火災に対処する人々に関心をもち、課題を解決するための学習問題をつかみ、学習計画を考えている。

【資料①】 釧路市の火災発生件数（過去10年間）



【資料②】 釧路市で発生した火災の焼損程度別件数（過去10年間）



焼損の程度

- 1 **全 焼**…建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の**70%以上**のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
- 2 **半 焼**…建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の**20%以上**で全焼に該当しないものをいう。
- 3 **部分焼**…建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の**20%未満**のもの又は建物の収容物のみ焼損したものをいう。
- 4 **ぼ や**…建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の**10%未満**であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

(消防庁ホームページより)